

旭川印刷製本工業協同組合／北海道印刷工業組合旭川支部 この広報は従業員にも掲示回覧してください。

## 旭川市役所に洋紙事情説明

2月21日旭川市契約課長と面談し、洋紙他の値上がりについて現状を説明し、印刷代金の値上げについて理解を要望しました。

諸事情は理解していただいたものと思いますが、個々の契約については様々な事情が絡むので、よく発注担当者と打ち合わせし、無理のない受注に努め、代替品などの検討には迅速に対応していきましょう。また、昨年末以来巻き取り紙に在庫不良が発生し、今後平判の在庫不良も懸念されています。紙商との打ち合わせも迅速に行いましょう。

## 日本製紙再生紙抄造中止

王子製紙のエコグリーンが受注生産扱いになったのに続いて、日本製紙は3月末で抄造を中止としています。

役所や関連団体でグリーン購入のために再生紙を指定することが多いですが、グリーン購入ネットワークでは、再生紙がなくなるわけではないとしながら、官公庁グリーン購入担当者宛に「在庫等の制約から入手が困難な場合は、発注担当者と協議の上決定します」との注釈をつけるよう勧めています。

## 組合結成70周年を迎える

旭川印刷製本工業協同組合は2020年、結成から70年を迎えます。周年事業として50周年来発行していなかった記念誌などの検討をしていますが、次年度に向けて、広く組合員のご意見を賜りたいと思います。事務局にお寄せください。

## 観光名刺4月から値上げ

当組合で企画販売している写真入りの観光名刺は洋紙値上げ事情を加味し、10%の値上げに踏み切ります。

現状価格 一般販売価格 500円(税込み)

4月1日から

一般販売価格 540円(税込み)

10月1日から

一般販売価格 550円(税込み)

他の名刺用紙もほぼ10%の値上げになっていることから、名刺価格は値上げが必至となっています。ご利用の皆様にはご理解をいただきますようお願いいたします。

## 三六協定はネットで作成

厚労省のホームページで三六協定や変形労働時間届を作れます。

ネットで検索:スタートアップ労働条件

～36協定届等作成支援ツール～

<特徴>

・36協定届を簡易に作成でき、出力したものは、そのまま労働基準監督署に提出できます

・各項目には「入力上の注意」として解説が付き、法令の違反には、アラート画面が表示されます

## 技専後援会に山田・坂野を推薦

道立旭川高等技術専門学院後援会に当組合から坂野(旭川坂野)を推薦しました。

## ドルック、Hohner社製中綴じ機を導入

(株)ドルックはこのほど、FFGSが昨年末から販売に乗り出したHohner社製中綴じ機の国内1号機を導入。その起動式が2月15日に執り行われた。



ドルックが導入したのはスタンダードモデル(工具レスセッティング仕様)の「HSB9000」。最高速度は9,000回転/時で、用紙サイズは最大で365×350ミリ(断裁前)まで対応する。起動式では、神事が執り行われた後、齊藤社長が起動ボタンを押し、生産稼働を開始した。「セットアップに要する時間が1/2に短縮できている。中綴じ機の仕事が無線綴じ機の2.5倍ある当社に大きな効率化をもたらす。また、縦積みフィーダーは擦れの心配がないため、大量に折り丁を載せることができる。」(齊藤社長)

(2019年2月18日PJWEBNEWS)

## ものづくり補助金2次締切5月8日

平成30年度補正予算ものづくり補助金の受付が2月18日に始まり第1次締め切りは23日に終了、第2次締め切りは5月8日となっています。

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者(特定非営利活動法人を含む)であり、以下の要件のいずれかに取り組むものであること。

・「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

・「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、3～5年で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

小規模型の場合対象事業は「小規模な額で中小企

業・小規模事業者等が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を支援(設備投資を伴わない試作品開発等も支援)、対象経費は機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費となっており補助率は対象経費の1/2以内補助額は100万円～500万円となっています。

設備投資をお考えの方は検討してみたいかがでしょうか。申請とお問い合わせは北海道地域事務局(北海道中小企業団体中央会内)〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル5階 TEL:011-522-9300

尚、旭川市での説明会は終了しています。

## 札幌で印刷業の大型「破産」

富士プリント株式会社(札幌市中央区)と子会社の株式会社富士コンテム(札幌市白石区)は2月22日、札幌地方裁判所に自己破産を申請した。負債は富士プリントが約11億8,000万円、富士コンテムが約3億2,000万円の見込み。富士プリントは1952年に創業した印刷会社。頁物印刷物、商業印刷物を中心に展開してきた。富士コンテムは1980年、富士プリントのビジネスフォーム印刷部門から設立し、伝票や圧着メールをはじめ、情報処理及び各種印刷付帯業務を請け負っていた。(東京経済ニュース)

印刷業の(株)メディア・ワン(北海道札幌市白石区)は2月22日、自己破産申請の準備に入った。負債額は約3億円。同社は平成6年9月設立の印刷会社。パンフレットや会社案内の印刷を得意とし、以前は4億円以上の売上高を計上していたが、ネット普及による印刷業界の不振により、売上不振が続き今回の事態に至った。(JCnet)

### <事務局日誌>

2月15日 北印工組三役会(札幌)  
2月15日 北印工組札幌支部例会  
2月21日 旭川市に用紙事情説明  
3月4日 第10回理事会

### <予定>

3月8日 北印工組下期北海道地区協議会(札幌)  
3月8日 道立旭川技術専門学院卒業式  
4月1日 第11回理事会  
4月12日 北印工組総会  
5月15日 定時総会(旭川印刷製本工業組合)  
5月17日 定時総会(北海道印刷工業組合)

